



年 組 名前

# 道新ワークシート

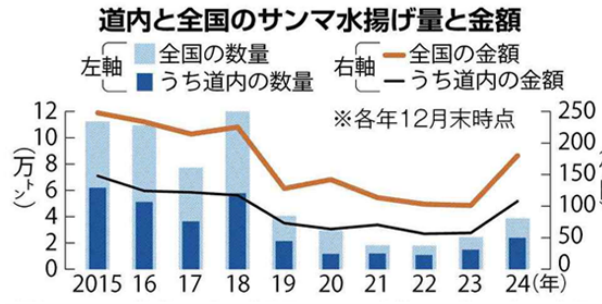
## サンマ水揚げ60%増

### 24年道内花咲港15年連続日本一



【根室】全国さんま棒受網漁業協同組合（全さんま、東京）は7日、2024年のサンマ水揚げ状況の最終集計を発表した。北海道内は前年比60%増の2万3904ト、魚価高もあり金額は87%増の107億7200万円だった。このうち大半を占める根室市花咲港は同55%増の2万126ト

と18年以来6年ぶりに2万トを超え、15年連続で日本一を達成。金額も同84%増の92億5300万円と大きく伸びた。全国は同58%増の3万8695ト、金額は同78%増の179億8100万円。道内はこのほか、厚岸漁港は同86%増の3504ト、釧路港は同41倍の274トだった。今季は中型船と大型船の解禁を早めて小型船と同じ昨年8月10日に統一し、12月上旬まで操業した。日本に近い公海に漁



場ができたほか、ロシア2000以内も日本漁船は最近5年で最多の約5千トを捕った。乱獲を防ぐ国際的な資源管理が奏功した可能性もある。近年は不漁が続いただけに根室市の大型漁船の船主(81)は「水揚げと価格に恵まれた。型も良く、多い船は6億円ぐらい稼いだ」と安堵する。ただ燃料代高騰などで経費は増え「今年も捕れるか分からない。手放しでは喜べない」と話す。

水産加工業界からは「ここまで水揚げが増えるとは」との声も。同市の水産加工会社「兼田」の浜屋高男社長は「在庫は確保できた」という。国などの来遊予測では前年並みの低水準とされ、魚価高が続いた。全さんまの大石浩平専務理事は「最後までサンマが小型化せず価格も維持できた。大型船を中心に経営は改善されたのではないか」と話す。

(先川ひとみ)

2025年1月8日(水) 朝刊 全道版 2ページ (記事は再編集しています)

(1) 日本でもっともサンマが水揚げされている場所はどこですか。□に当てはまる言葉を書きましょう。

もっともサンマが水揚げされている都道府県…

もっともサンマが水揚げされている市町村…

もっともサンマが水揚げされている港…

(2) 新聞記事とグラフを見て、□に当てはまる数字を答えましょう。

2015年の日本のサンマの水揚げ量は約11万トンであり、そのうち北海道では約  万トンのサンマが水揚げされていた。2024年になると、北海道では約  万トンのサンマが水揚げされたが、2015年に比べると  分の1程度まで減っていることがわかる。